

「龍蛇山澤に生ず」

学校長 齊藤 博

本校では、「原村学」と銘打って村の自然、産業、暮らし、人柄等を活かし、故郷原村と自分との関係を、体験的な活動を通して、学びを深めています。原中出身の先輩方、地域の皆様にゲストティーチャーとしてお招きしたり、地域の財産である農業、遺跡、美術館、文化園等々を直接訪問したりしながら、「見て」「触れて」「感じて」「考えて」、自分や村の将来の有り様を学んでいます。原村が掲げる「賢く、優しく、逞しい原っ子の育成」という教育理念や「原村みんなの力で育てよう」というスローガンに迫る学びを实践させて頂き、子どもたちを、また学校を大切にしていることを実感しております。本当に感謝申し上げます。

「龍蛇山澤に生ず」という言葉があります。龍蛇とは「すばらしい人、力のある人」の例えです。力のあるすばらしい人は、「山澤」、つまり山や川などの自然豊かな地から生まれるという意味です。雄大な八ヶ岳、澄み切った空気と水、そこに暮らす生徒の皆さんは、まさに「龍蛇」です。

家族や地域の皆様にとっては、何ものにも代えがたい宝。故郷原村の10年後、20年後、30年後を担う宝である子どもたちが、自分だけの(人の真似できない)「よさ」「輝き」を放つよう、職員一同、精一杯精進、努力して参ります。今後ともお力添えの程、よろしくお願い申し上げます。